



2021年1月20日  
NSユナイテッド海運株式会社  
代表取締役社長 谷水 一雄  
(問合せ先)企画グループリーダー 関 健太郎  
電話 03-6895-6282

## 広野IGCCパワー殿向け石炭専用船「みらい」竣工

当社グループのNSユナイテッド内航海運株式会社(以下「NSU内航」)が運航する、広野 IGCC パワー合同会社殿向け石炭専用船「みらい」(以下「本船」)の命名・引渡式が1月15日に行われ、無事に竣工しましたので下記のとおりお知らせいたします。

### 記

NSU内航と株式会社JERA殿(本社:東京都中央区)との輸送契約に基づき、NSU内航が発注、株式会社新来島どつく殿(本社:東京都千代田区)が建造した石炭運搬船が竣工いたしました。

本船は専用船として、小名浜港から福島県広野町の広野 IGCC パワー合同会社殿向けの石炭国内二次輸送に従事する、国内最大の荷役装置付き石炭運搬船です。

「みらい」という船名は、すでに株式会社JERA殿広野火力発電所に就航している「きぼう」(広野町小中学生が命名)に続いて、広野町役場の皆さんの応募により、世界最新鋭の石炭火力発電所向けの船として、福島復興に寄与し、地域の「みらい」の象徴となるという思いが込められて決定しました。

省エネ型の電子制御エンジンを搭載し CO<sub>2</sub> 排出の削減を図るとともに、港内での回頭、離着棧の安全性向上のためにベックソインラダーを採用しています。また乗組員の労働環境向上や女性船員活用などを考慮し、各室トイレ、シャワーなどの設備を備えた近代的な船になっています。

今後、安全管理の徹底と環境保全に配慮し、環境性能に優れた最新のクリーンコールテクノロジーによる広野 IGCC パワー合同会社殿向け燃料の安定輸送に努めてまいります。

※IGCC(石炭ガス化複合発電):石炭をガス化して利用することにより、従来の石炭火力発電よりも発電効率が高められ、CO<sub>2</sub> 排出が低減できる環境性能に優れた発電システム



### 【みらい主要目】

総トン数	18,419トン
載貨重量	15,000トン
主要寸法	全長149.91m×幅27.20m×深さ14.20m
速力	13.5ノット